



# Dynamics AXにおける開発上の課題を迅速かつ高品質なコンサルティングで解決

## NSSOLのシンガポール現地法人NSAPが短期解決を支援

### 背景

業務効率化に向けて、ERP導入プロジェクトを進めていたが、プロセス製造業特有の循環工程に関するシステム対応、モジュール間のデータ連携などで開発上の課題が発生。決算期に備え、短期間で解決したいと考えた。

### ソリューション

ERPの導入実績が豊富なNSSOLのシンガポール現地法人NSAPにコンサルティングを依頼。NSAPのプロジェクトマネージャとコンサルタントによる、円滑なプロジェクトマネジメントと豊富な技術支援によって改善を実施する。

### 成果

NSAPのコンサルティングによって、プロジェクトマネジメントとERP導入ノウハウの両面から抜本的な対策がまとまり、決算までに課題が解決した。ERPの導入完了によって、業務効率化は次の段階に入ろうとしている。



PT. Tanjungenim Lestari Pulp & Paper  
Accounting Manager  
**勝部 善行氏**  
※所属は当時のもの



PT. Tanjungenim Lestari Pulp & Paper  
MID Manager  
**チャンドラ・ウィバワ氏**  
(Mr. Chandra Wibawa)

### 導入中のERPに課題、短期解決へコンサルティングを依頼

インドネシア・スマトラ島の拠点で、紙の中間素材であるパルプを生産しているTanjungenim Lestari Pulp & Paper (以下、TEL)。植林から紙の販売までを手掛ける丸紅が85%(間接分を含む)を出資する同社が生産する高品質パルプは、高級インクジェット用紙/高級フェイシャルティッシュ/感圧紙などの製造に使われている。

TELがMicrosoft Dynamics AX(以下、ERP:統合基幹業務システム)へのコンサルティングを検討したのは2013年春である。ERPはフェーズ1で会計(総勘定元帳/売掛・買掛金管理機能)モジュールを、フェーズ2で生産・在庫・資産管理などのモジュールを導入したが、プロセス製造業特有の循環工程に関する原価管理への対応、フェーズ2導入モジュールから会計モジュールへのデータ連携に開発上の課題があった。

### NSAPが約1カ月でERPを詳細に調査、改善策を作成

次の決算期までに課題を解決すべく、TELは丸紅本社の情報企画部などを通じて、複数のITベンダーに提案を依頼。その中から新日鉄住金ソリューションズ(以下、NSSOL)のシンガポール現地法人NS Solutions Asia Pacific(以下、NSAP)を選ぶ。

NSAPは、NSSOLのASEAN(東南アジア諸国連合)における豊富なシステム導入実績を背景に、「ERPに詳しく、英語でTELの経理担当者やシステム管理部とコミュニケーションがとれる」「進捗をきめ細かくプロジェクトマネジメントできる」といったTELの要望を満たす体制を構築し、2013年9月からコンサルティングを始めた。NSAPは約1カ月でTELのERPを詳細に調査して、改善策を作成。同年10月から12月にかけてフェーズ1およびフェーズ2で見つかった課題の改善策実行を支援した。

### 課題を抜本的に解決、ERP本来の価値発揮へ本格運用を開始

NSAPの支援を受けて、TELは2013年10月から改善策を実行。業務要件とERP機能のFIT&GAPを精緻化し、循環工程に関する原価管理への対応、および各モジュールから会計モジュールへの連携における課題を抜本的に解決した。

続いて2014年2月からTELはデータの移行・再入力に着手。移行断面データの作成や取引データの入力方法について、NSAPの提案に基づき、効率的にデータを再入力することで、ERPは2014年3月から無事に本格運用を開始している。

懸案の課題解決に伴い、TELの業務効率化は次の段階に入ろうとしている。今後は、運用ガイドラインの策定、現場の運用担当者に対する教育強化などによって、ERP本来の価値を最大限に引き出していく予定である。



PT. Tanjungenim Lestari Pulp & Paper  
工場所在地：インドネシア 南スマトラ州  
設立：1990年  
資本金：6億2178万米ドル(2014年10月31日現在)  
生産能力：年間49万トン

## Key to Success

TELがERPのコンサルティングを依頼したのは、ERPで見つかった循環工程のシステム対応といった開発上の課題を解決するためである。

Accounting Manager(当時の勝部善行氏は「赴任時には、システムの開発は既にほぼ完了しており、当初はユーザーの立場でERPを使用していました。しかし、通常業務を行ううえで、システム内の会計データに課題があることがすぐに分かりました。運用保守による対処を模索しましたが、人的リソースや時間に制約があるなか、外部コンサルタントの支援を受けるのが最善だと判断しました」と振り返る。

複数のITベンダーの中からTELが選択したのはNSSOLのシンガポール現地法人NSAPである。同社は急成長するASEAN各国において、日本と同等の高い品質でSI事業やクラウドサービスを展開している。

NSAPはTELの要望を満たす確かな体制でコンサルティングを行った。

「NSAPは綿密なプロジェクトマネジメントを行うマネージャと、ERPに高いスキルを持つコンサルタントの体制でプロジェクトを推進しました。また、当社のシステム管理部はインドネシア人が中心なのでインドネシア語でのコミュニケーションになりがちですが、このコンサルティングでは要望通り、私を含め英語で課題解決に取り組み、円滑にプロジェクトを進めることができました」(同)

NSAPのチームの仕事ぶりに対するTELの評価も高い。

「調査状況などの進捗を日次でレポートする、当社のシステム管理部から出た課題は必ず課題リストにまとめて共有する、といった要望に全て対応

してもらいました。NSAPのプロジェクトマネージャがまとめたレポートは内容が詳しく、迅速に提出されたことが記憶に残っています。また、コンサルタントのスキルも期待通りでした。こちらの要望をかなえられるまで、粘り強く対応してくれます。海外でありながら、日本と同等の高品質なコンサルティングが提供されたと感じています。課題解決のため様々な要望を出しましたが、NSAPなら実行してくれるだろうという信頼感もありました」(同)

### NSAPが高品質なコンサルを提供 様々な要望へ柔軟に対応して解決

MID Managerのチャンドラ・ウィバワ氏は「我々とNSAPのチームは時間を追って、ともに仕事ができるようになりました。NSAPがきめ細かくプ

ロジェクトマネジメントを行うことで、我々は短期間でシステムを改善することができました」と語る。

NSAPはTELが行う作業についても柔軟に支援を行った。

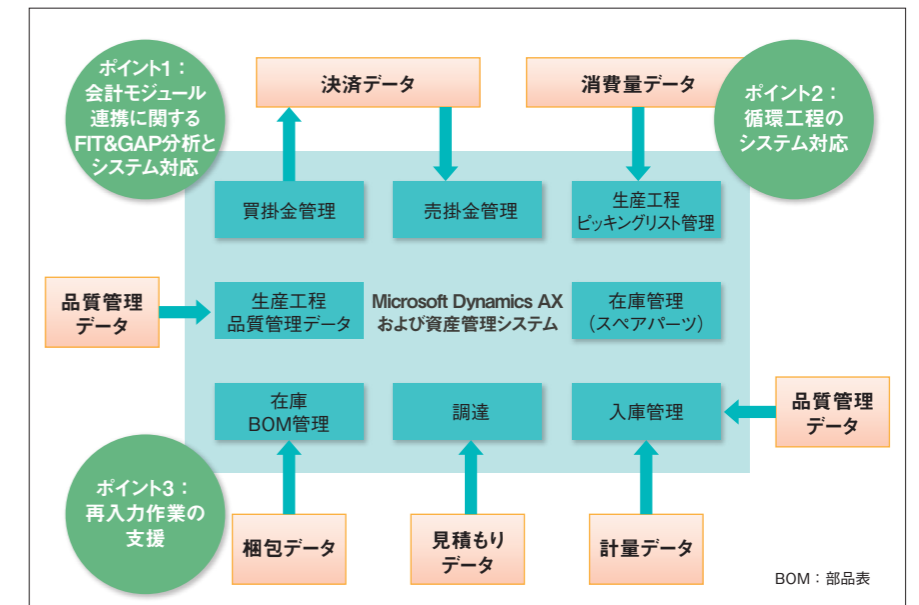
勝部氏は「システムを改修したあと、過去のデータを検証しながら再入力する際、正しいデータを優先的に抽出して効率的に再入力できる環境をNSAPに整備してもらいました」と述べる。

ERPの課題解決によって、業務効率化は次の段階に入ろうとしている。

チャンドラ氏は「システムのデータ量が増えたため、パフォーマンスをさらに改善したいと考えています。また今後のシステム改善についても引き続きNSAPに期待しています」と語る。

勝部氏は「製造部門や購買部もERPを利用するようになったため、システム利用者教育の強化などが重要になったと感じます」と話す。

### ■Tanjungenim Lestari Pulp & PaperでNSAPが行ったコンサルティングの概要



### ■コアテクノロジー

ERP導入ノウハウ、プロジェクト推進力、ドキュメント作成、データ再入力支援

### ■システム概要

- サーバー：6台 (Windows Server)
- アプリケーション：Microsoft Dynamics AX